

昨年8月 寺田縄地域に避難勧告が発令されました

ご存じでしたか？ 8月22日(月) 12時40分 平塚市避難勧告発令

勧告の文言は『現在、大雨により河川水位が上昇しているため、金田地区、豊田地区の鈴川沿いにお住いの方に対して避難勧告を発令しました。避難場所を金田小学校、豊田小学校に開設しましたので、直ちに避難してください、家に留まる方は、2階以上の高い所へ避難してください』

先立つ 午前8時には 『台風9号の接近に伴う自主避難のため相模川水系及び金目川水系の避難所を開設します。開設避難所は・・・金田小学校・・・』と、自主的な避難が促されていました。

平塚市 9:30~10:30までの一時間の雨量は、40.0mm

午前5:00~午後4:20 総雨量は、144.0mm

鈴川が氾濫する恐れのある水位となり、寺田縄に避難勧告が発令されました。

自主避難並びに避難勧告は、風雨の強い中、平塚市の「防災無線」、「広報車」で伝えられましたが、皆さん聞き取ることができたでしょうか。

平塚市からの避難勧告等の情報は、次々と自治会長宅にメールで届けられました。急を告げる情報は880戸を超える自治会員に伝える活動に移ります。自治会役員全員で手分けをし、16の班長経由で85の組長へ、そこから全会員宅へ伝えねばなりません。避難勧告という生命・財産にかかわる厳しい情報は、全会員の下へ短時間に流れるように伝える必要があります。しかし、現実には理想通りとはなりません。ご承知のように、不在の家があれば伝達は途切れます、等々でした。市災害対策課によると、金田地区で避難所に避難した方は4名でした。幸いにも、鈴川の溢水、堤防の決壊等の被害はありませんでした。

この事態を通して、寺田縄の防災活動に、解決せねばならない数々の問題点がクローズアップされました。自治会では自主防災組織の活動をより実効あるように、そして、寺田縄の防災力を高めるために、「防災検討会」を組織し活動を始めています。今後、様々な手立てをもって、自治会員が防災を考える機会となるよう発信を続けてまいります。

行事案内

「防災まち歩き in 寺田縄」 5月13日(土) <午前中>

- 集合： かつぱ公園 9時30分 (事前の申込は不用、小・中学生可)
- 持ち物： 履き慣れた靴、筆記用具 (記録することがあります)、飲み物等
- 寺田縄地域を歩きながらめぐり、地形の特徴・標高、防災等を考えます

<文責： 寺田縄防災検討会代表 片山興大 寺田縄1035-8>